平成 29 年度　栃木県支部第 7 回役員会　議事録

日時　：　平成 29 年 11 月 11 日（土）9：30～11：30

場所　：　国際交流協会　研修室

出席者：　新井 達雄、井本 郁子、金澤 政和、亀田 則男、川上 寛児、久芳 良則、
黒川　昌司、篠原 正美、西谷 元則、萩原 弘美、松原 猛　　（11 名）

委任状出席者：稲葉　茂、柏崎 和久、黒須　重富、谷口 雅昭、福田一郎（5 名）

議事書記　　：金澤　政和

議事録署名人：井本　郁子、黒川　昌司

黒須支部長不在のため、久芳副支部長が議長となり、議事進行した。

Ⅰ．審議事項

１．月刊技術士の「安心・安全」、「社会への発信」各コーナーへの寄稿協力依頼について
（西谷委員）

・1018 年 7 月号（前後）発行予定の月刊技術士「安心・安全」、「社会への発信」コーナーへ寄稿協力依頼が本部からきている。第一次紹介期限：11/30。2018 年 4 月頃から添削開始。「安心・安全」の項目で　亀田委員が承諾、（補足：会議後に「社会への発信」で寄稿予定に変更）。

２．「会報 12 月号」の原稿依頼　（西谷委員）

・資料どおりの依頼者に 12/20 までの作成期限でお願いする。なお、原稿文字数 800 文字とあるのは 2000 文字に訂正（ただし「講演会・忘年会」（亀田委員担当）は 800 文字）。この他、「技術士を目指せ」の本の紹介を載せる予定。

３．科学技術講演会(11/18)の参加者　（亀田委員）

・11/11 現在、会員 22 名、一般 12 名、協賛団体 6 名　計 40 名
参加者が少ないので再度参加者を募って下さい。今後、参加者を増やすため開催時期、話題の再検討を企画委員会中心に検討する。

Ⅱ報告事項

１．「エコテック 2017」実施報告　（川上委員）

・改善点も含めて資料どおり説明され、結果は大盛況であった。紙コプターは好評でディケアセンターの方から紙が欲しいとの要望があったとの報告があった。

宇大から JABEE 習得技術者についての指導にあたる技術士の紹介の話があったが、このような依頼に対して栃木支部として、どのように考えて対応するかのルールづくりが必要なのではないかという提言があった。これまで、個人的に対応したことがあったが、考え方の整理が必要では（西谷委員）。対応に当たった場合にも、無償のボラ

ンティアで対応可能なことは限られており、個人の対応にも限界がある。また、企業であれば企業の内部資料や技術の問題もある。今後の用検討課題と考える。

２.「企業支援委員会」報告　（篠原委員）

①業務斡旋関係：8 月以降　6 件（内訳：不成立→3 件、不適→1 件、実施中→2 件）

②事業性評価関係：企業に対しての事業評価は通常、銀行の融資担当が行っているが専門的な知識は少ないので技術士と協力して実施したい。信用保証協会、足銀、栃銀、栃信に支部評価案を打診中。振興センターにも事業評価の依頼があり、メンタ（豊富な知識を有する企業 OB）を紹介するがうまくいっていない。中小企業診断士を紹介しても過去の評価を重視しているので目利きができていない。金融庁が地銀再編を視野に入れて地銀の選別を考えている。　→　これらの状況に鑑み、支部として比較的技術士の多い分野の「農業、食品」、「機械」、「建設・土木」の３分野で「中小企業事業性評価研究会」を 12 月中頃立ち上げたい。

なお、支部としては企業に技術士の紹介は行うが、責任は企業と契約する技術士個人である。

３. WEB 情報糞尿発電スマートジャパン　（久芳副支部長）

資料にまとめてあるので参考に見て下さい。

４. 日韓技術士会議（釜山）結果　（久芳副支部長）

12 月号月刊誌に記載予定の未定稿記事を添付。支部からは田仲氏、菅井氏夫妻が出席した。

５. 2017 さくらサイエンスプラン浙江省訪日団日程表　（久芳副支部長）

資料どおり。

６. その他

・12/14（木）まちぴあ　大掃除。参加できる人は西谷委員まで。（軽作業）

・1/15～1/17　まちぴあ　使用不可。

・今年の 4 月～9 月の交通費を新井委員から各自渡します。

・次回役員会は 12/9（土）時間は別途連絡。午後は講演会・忘年会。
1 月はなし。2 月は 2/10（土）予定。

議事録　署名人

支部長　黒須重富

議事録署名人　井本　郁子

議事録署名人　　黒川　昌司

書　記　　金澤　政和